

目 次

はじめに

1. 小児救急診療の特徴と日常の心構え

夜間救急診療の状況	6
日頃の準備が子供を守る	
●平熱	8
●脈拍	8
●呼吸数	9
思わぬ事故を防ぐには	10
小児科の医師からお願いしたいこと	12

2. ありふれた症状で、時に緊急を要する状態

発熱	14
●発熱時の看護	15
●感染症に関連して救急受診の必要がある場合	16
●風邪（ウイルス感染）で救急を要する状態	17
咳	19
●咳に関連した小児の重要な疾患	19
●気管支喘息でよくある間違い	22
泣き止まない	24
腹痛	25
●腹痛に関連した小児の重要な疾患	25
頭痛	27
頸部痛	27
のどの痛み	28
声がすれ	28
耳の痛み	29
歯の痛み	29
胸の痛み	30

背中の痛み	30
四肢の痛み	30
排尿の痛み	31
月経痛	31
下痢	32
●嘔吐・下痢の看護	32
●よくある間違い	33
嘔吐	35
吐血	35
血便	36
血尿	36
失神・めまい	37
皮膚の発疹	38
じんましん	39

3. 重要な症状の見方

呼吸が苦しそう	42
●呼吸困難の症状	42
意識障害	44
●意識レベル分類法	44
●意識障害が見られたら	45
項部強直	46
脱水症状	47
包帯の巻き方	48

4. 特に緊急を要する症状・状態

けいれん	50
●けいれんの処置	50
窒息	53
熱傷	54
電撃症	56
熱中症	57

アナフィラキシー	59
溺 水	60
5. 誤飲などの中毒	
誤飲などの中毒	62
中毒 110 番・電話サービスの利用方法	66
6. 外 傷	
頭の外傷	70
目の外傷	71
鼻の外傷	72
鼻出血	72
口の外傷	73
歯の外傷	73
耳の外傷	74
皮膚の外傷	75
指の外傷	75
胸部の外傷	76
腹部の外傷	76
骨の外傷	77
動物に咬まれたら	79
● 犬・猫・人の場合	79
● ヘビの場合	79
● 蜂の場合	80
異 物	81
● 目の場合	81
● 耳の場合	82
坐薬の入れ方	83
薬の上手な飲ませ方	84
こども急病電話相談案内	85